

3. 胎児・妊産婦管理および周産期医療システム化に関する研究

是 永 迪 夫 (九州大学生体防御医学研究所 産婦人科)

外来産科データを外来現場で電気信号に変換し、その後の情報の収集および処理を容易にするユニットの作製をおこなった。その特徴は、

1. 煩雑な外来での入力を可能なかぎり容易にすよう、ライトペンによるワンタッチ入力を付加した。
2. プリンター出力（カルテバックアップ、母子手帳出力、プレグノグラム出力）をもたせ、外来での省力化を可能とした。
3. このユニットのファイル検索はすべてRAM上で行っているため、医師は必要なデータを迅速に得ることができ、かつ経過図、プレグノグラム出力は、妊娠状態の把握に役立つ。
4. 発生したデータは妊娠個々のデータエリア

に取められるとともに、1日分の新規データが1ヶ所に集められるので、バックアップの意義とともに、これを蓄積すれば統計用データとして利用できる。

5. 今までのようにカルテまたはデータシートより情報を入力するのではなく発生した時点で情報を入力するので、時間因子が発生事象とともに保存できる（図1）。

マイクロコンピュータ出現来、産科関係でも各種の入力、出力ソフトが発表されてはいるが、いずれも妊婦データの一部のみでシステム化が行われていない。したがって実用化には、難があったが、今回妊婦外来での各種要求をこのユニット中で、システム化した。

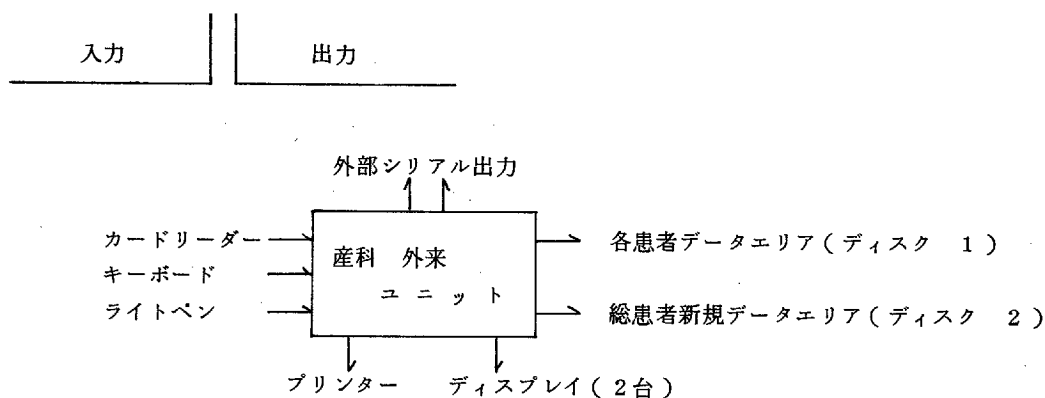
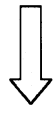
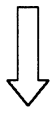


図 1.



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



外来産科データを外来現場で電気信号に変換し、その後の情報の収集および処理を容易にするユニットの作製をおこなった。